


# 野村地区

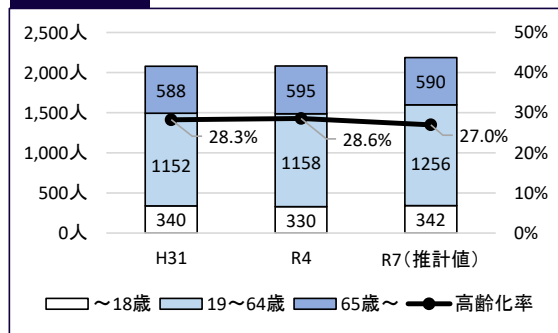
## ◆概要

	【位置図】	まち協名	野村地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市野村3丁目10-9	電話	0595-82-1449
		地区構成	野村 南野町 北野町		
		地域特性	<p>亀山市中央部に位置し、南に鈴鹿川、北に椋川、東に竜川と豊かな自然に囲まれ、市街地は鈴鹿川の強固な河岸段丘の上であり、自然災害の少ない地域となっています。JR亀山駅が近く、国道1号線、西町関線、和賀白川線が走っており、交通アクセスも良好です。国史跡野村一里塚、内宮の遷幸地と言われている忍山神社では、毎年10月の例祭で、市無形文化財の傘鉾が町内巡行されています。近年、若い世帯が増加し、15歳以下の児童数が300人近くになっており、世代交代が進んでいます。</p>		
面積	291.8ha	ホームページ	<a href="https://nonura1449.xsrv.jp/">https://nonura1449.xsrv.jp/</a>		
めざす姿	地域に誇りと魅力を感じるまち				
地域の誇り	歴史文化に出会い、川と緑に囲まれた豊かな環境下で展開されている住民主導の地域活動				

## ◆人口

	平成31年	令和4年	令和7年 (推計値)	増減	
総人口	2,080人	2,083人	2,188人	3人	
人口密度	7.13人/ha	7.14人/ha	7.50人/ha	0.01人/ha	
65歳以上	人口	588人	595人	590人	7人
	比率	28.3%	28.6%	27.0%	0.3%
18歳以下	人口	340人	330人	342人	-10人
	比率	16.3%	15.8%	15.6%	-0.5%
外国籍	人口	160人	158人		-2人
	比率	7.7%	7.6%		-0.1%

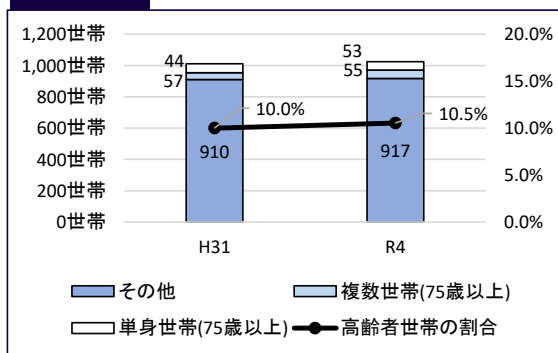
## ◆人口推移



## ◆世帯

	平成31年	令和4年	増減
総世帯	1,011世帯	1,025世帯	14世帯
単身世帯 (75歳以上)	57世帯	55世帯	-2世帯
複数世帯 (75歳以上)	44世帯	53世帯	9世帯
高齢者世帯割合	10.0%	10.5%	0.5%

## ◆世帯推移



## ◆介護保険認定者

	平成31年	令和4年	増減
要支援1.2	51人	49人	-2人
要介護1~5	85人	81人	-4人
合計	136人	130人	-6人

## ◆地域組織

	平成31年	令和4年	増減
自治会	12	12	0
老人クラブ	2	3	1
子ども会	3	3	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	3
福祉委員	26
介護保険施設・事業所	2
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・診療所	3
歯科	0
保育所	1
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	23

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	平成31年	令和4年	増減
ふれあい・いきいきサロン	4	2	-2
子育てサロン	1	1	0
コミュニティサロン	0	1	1

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

三世交代事業を行い、子どもから高齢者のふれあい活動を行っています。

【訪問活動】

一人暮らし高齢者宅の訪問活動を行い、困りごとの聞き取りを行っています。

【その他】

毎月のふれあいいきいきサロン、子育てサロンの協力をしています。



ホタル観賞



びよびよサロン(子育てサロン)

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・ホタル観賞
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・ラジオ体操
- ・夏祭り(夕涼み会)
- ・長寿を祝う会
- ・運動会
- ・菊花展・文化祭
- ・農芸祭・イルミネーション
- ・健康教室
- ・いきいきサロン
- ・びよびよサロン

◆生活支援コーディネーターからのコメント

野村地区の人口は2,083人で、そのうち28.6%にあたる595人が65歳以上です。地域内1,025世帯のうち、10.5%にあたる108世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の7.6%にあたる158人が外国籍です。

地域の特色として、比較的スーパーや医療機関にはアクセスしやすく、生活するのに便利な環境が整っています。地区内では、三世交代やサロン、子どもの見守り活動である児童防犯パトロール(青パト)や登下校時の見守りなど、まち協を軸とした地域活動が活発に行われています。まち協役員の発案により昨年度から実施しているイルミネーション事業をさらにバージョンアップさせた「真冬のきらめき2022in野村」を開催し、子どもから大人までたくさんの方が楽しめました。また、コミュニティの前に風よけベンチを設置し、散歩の途中で住民が気軽に休める憩いのスペースを作るなど、「人が来やすいコミュニティセンター、ひらかれたまち協」を目指して取り組まれています。今後は、コミュニティセンターに集う人たちやさまざまなイベントなどから地域のニーズを拾い上げ、さらに地域住民に寄り添った事業へと展開されることが期待されます。